

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	遊 亀 館
住 所	島根県大田市長久町長久口267番地6
電話番号	0 8 5 4 - 8 4 - 0 2 7 1

事業所番号	3210500140
管理者名	森 山 賢 勝
対象年度	令和 2 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>(株)魚の屋 令和 3 年 3 月 9 日 (火) 工場見学、作業工程見学 遊亀館職員、利用者 合計17名</p>	<p><活動の様子></p>      <p>【利用者さんのことば】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「機械化の力」が見られてよかったです。 ・スピードが求められることがわかりました。 ・60歳以上の方と障がいのある方が一緒に働かれていたので実習に行ってみたくてです。 <p>最中製造室は、機械が湿気に弱いため常に除湿されている。利用者の皆さんは、日頃施設内で最中スーアの製造を行っているのもとても興味を持たれ、積極的に質問をされていました。特に普段手にしている最中の皮がどのように焼きあがっているのか見入っておられました。夏場は室温が50度～60度になるとの説明には皆さん驚かれていました。</p>
<p><目的></p> <p>就労継続支援A型の生産活動にさせていただくことで就労支援の収益となり、障がい者の賃金UPに繋がる。また、障がい者や高齢者の働く場を先駆的にされている(株)魚の屋さんとコラボすることで遊亀館の生産活動が訓練の場となり、今後の雇用に繋がりがやすい。(株)魚の屋さんの最中スーアは全国大型店舗やお土産店で取り扱いをされている。幅広く商品が売れる程、仕事が増える為、雇用の場を生み地域貢献に繋がる。市内だけではなく、全国展開をされているということで、障がいを持った方が生産活動をする上でとても刺激になり、働く喜びを得ることが出来るウィンウィンの相互性がある。</p>	
<p><成果></p> <p>就労支援事業の収入の多くを占めていた配食サービスであったが、コロナウイルスの影響もあり売上げが低迷していた。しかし、最中スーアの生産に力を入れることにより収入の安定化が図れた。それにより、利用者の賃金を訓練等給付から出すこともなく、就労支援事業収益より支払うことが出来た。また、令和1年度よりも多い賃金を出すことが出来た。今後の課題としては、企業は機械化が進んでいる。障がい特性によっては機械を使用するのを苦手とする方も多い。現在は、手作業で行っている。今後、生産スピードをあげていく必要がある。また、機械化が進む中、それに対応できる様な作業工程も必要だと感じる。年間を通して何度か魚の屋の中島さんに来て頂き、作業工程の確認をして頂いた。毎月必ず来て頂いている。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>株式会社魚の屋は明治10年創業。海産物製造・加工販売を行っており、わかめ製品を全国約13,200店舗へ導入。従業員はパートを含め71名。そのうち障がい者は3名。希少な天然わかめの刈り取りを漁師に依頼、その加工作業を障がい者施設や高齢者に委託するなど、漁業と福祉を連携させ、障がい者や高齢者の活躍の機会を創出したことなどが評価されたことにより、令和元年12月3日「第6回ディスカバ―農村漁村(むら)の宝」のグランプリを受賞した。今後も地域密着、地域貢献のひとつとして高齢者、障がい者の雇用に力を注いで行きたい。障がいを持っておられる方は精神面で不安定なことがあったり、なかなか思っていることを口に出せないこともある。そういった時に、福祉施設や学校(養護学校の卒業生を雇用している)等、各関係機関と素早く連携を取りたい。本人の安定と企業側(特にともに働く従業員)の理解を得ることにより、継続的な雇用へと繋がる。就職後も連携がとても必要だと感じる。まずは、仕事の能力というよりも安定的に勤務が出来ることで福祉と企業の連携は欠かせないものだと感じる。こうして障がいを持った方が、収入を得てこの地域で暮らして行けることこそ素晴らしいことであり、私たちもその一助となりたく思います。</p>			
連携先企業名	(株)魚の屋	担当者名	中島千晴

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	遊亀館
住 所	島根県大田市長久町長久口267番地6
電話番号	0854-84-0271

事業所番号	3210500140
管理者名	森山 賢勝
対象年度	令和2年度

(I) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		40	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	40	点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上			
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上			
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上			

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(III) 多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		15	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○		
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている	○		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
小計（注1）	5		点

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(IV) 支援力向上（※）

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○	25
参加した職員が1人以上半数未満であった			
参加した職員が半数以上であった			
②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1回の場合			
2回以上の場合		○	
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ			
いずれか一方のみの取組を行っている		○	
いずれの取組も行っている			
◎ ④販路拡大の商談会等への参加			
1回の場合			
2回以上の場合		○	
◎ ⑤職員の人事評価制度			
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		○	
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計（注2）		6	点

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
		点

1事例以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点	20点	25点	40点					40
多様な働き方	0点	15点	25点	35点					15
支援力向上	0点	15点	25点	35点					25
地域連携活動	0点	10点							10

合計	
130	点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績 I～IV）

(I) 労働時間

前年度（令和2年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	15,935	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,578	人	利用者の1日の平均労働時間数	4	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々年度（令和1年度）

生産活動収入から経費を除いた額	12,315,846	円	利用者に支払った賞金総額	11,873,409	円	収支	442,437	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前年度（令和2年度）

生産活動収入から経費を除いた額	12,819,243	円	利用者に支払った賞金総額	12,642,918	円	収支	176,325	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(III) 多様な働き方

前年度（令和2年度）における実績（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

① 免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度

① 免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度を活用した人数	0名
※取得を進めた免許等：	
制度の活用内容：	

② 利用者を職員として登用する制度

② 職員として登用した人数	0名
◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している	<input type="checkbox"/>
◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している	<input type="checkbox"/>
※登用した日	年 月 日
勤務形態：	
就業時間：	時 分～時 分
職務内容：	

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③ 在宅勤務を行った人数	0名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（在宅勤務）：	時 分～時 分
職務内容：	

④ フレックスタイム制に係る労働条件

④ フレックスタイム制を活用した人数	0名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（コアタイム）：	時 分～時 分
職務内容：	

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

⑤ 短時間勤務に従事した人数	13名
※実施した期間：	4月1日～3月31日
就業時間（短時間）：	11時00分～16時00分
職務内容：	鰯魚の屋最中スーパ生産委託業務

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

⑥ 時差出勤制度を活用した人数	0名
※実施した期間：	月 日～月 日
就業時間（早出の場合）：	時 分～時 分
就業時間（早退の場合）：	時 分～時 分
職務内容：	

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦ 時間単位取得を活用した人数	15名
⑦ 計画的付与制度を活用した人数	15名
※取得した制度	有給休暇の時間単位取得 <input checked="" type="checkbox"/>
	計画的付与制度 <input checked="" type="checkbox"/>
取得した期間：	4月1日～3月31日
取得日数・時間	141日 107時間

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

⑧ 傷病休暇等を取得した人数	0名
※取得した内容：	
取得した期間：	月 日～月 日
就業時間：	時 分～時 分
職務内容：	

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度（年度）における実績（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

① 研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
① 研修実施回数	外部 8回 / 内部 2回
対象職員数	4人
うち研修受講者数	2人
※研修名	令和2年度障がい者虐待防止・権利擁護研修
研修講師	峠田晃宏氏・牧原直也氏
実施日・受講者数	2月 15日 1人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

② 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	0回
※研修、学会等名	
実施日	月 日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

③ 先進的事業者の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
③ 他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input type="checkbox"/>
※先進的事業者名	鰯魚の屋
実施日/参加者数	3月 9日 3人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④ 販路拡大の商談会等への参加

④ 販路拡大の商談会等への参加回数	3回
※商談会等名	ふれあい長久会 意見交換会
主催者名	長久まちづくりセンター
日時	3月 5日
内容	A型事業の主となる高齢者向け配食サービスの販路拡大の為、まちセン職員、長久地区民生委員、長久町高齢者を対象に栄養管理の大切さを伝え、顧客獲得を目指し商談を兼ねて出展者と情報交換、意見交換を行った。

⑤ 職員の人事評価制度

⑤ 職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
⑤ 当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日	R3年 3月 12日
人事評価制度の対象職員数	3名
うち昇給・昇格を行った者	3名
当該人事評価制度の周知方法	自己評価、一次、二次、最終評価を行い結果を年度の最終までに職員一人ひとりに説明を行う

⑥ ピアサポーターの配置

⑥ ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
⑥ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間	月 日～月 日
就業時間	
職務内容	

⑦ 第三者評価

⑦ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ 国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。